

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

ガバナー(第2640地区) 久保治雄(クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>

E-mail : [kubo-2013@rid2640.org](mailto:kubo-2013@rid2640.org)

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 塩谷圭一 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 本日の例会

2013年11月15日(金)第1591回

卓話 「情報セキュリティについて」

卓話者 堺警察署 防犯課係長 岡本康秀様

紹介者 堀畑好秀 会員

今週の歌 「四つのテスト」「女一人」

「堺北RCの歌」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

## 次回の例会

2013年11月22日(金)第1592回

卓話 「未定」(外部卓話予定)

卓話者 辰 正博 会員

## 前回例会の報告

2013年11月8日(金)第1590回

卓話 「 晴明堂 今昔 」

卓話者 奥野圭作 様

紹介者 山中喜八郎 会員

今週の歌 「我等の生業」「惜別の歌」

お客様の紹介 笹氣 光祚様(仙台北RC)

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(11月度)

池田茂雄 会員(第31回)

<11月1日(金)の出席報告>

会員数(会員32名・準会員1名) 33名

出席会員 24名

出席準会員 0名

欠席会員 9名

ゲスト 1名

ビジター 1名

9月20日(金)の出席率 90.62%



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンD.バートン(ノーマン・ロータリークラブ)



### ・香線香の今昔

まず仏事・儀式、宗教儀式が私達のひとつの大きなマーケットになっています。これは「畏敬の文化」だと私は思っていますが、仏さまを敬い、恐れてお香を捧げるという宗教儀式です。

そして香道、いわゆる香りを楽しむ、または薫物をしてみんなでゲームをするというものです。我々はつい最近までこのふたつで生きてきました。

最近になって新たなひとつの方向性が見えてきました。リラクゼーション、癒しの文化ということで私は「アロマセラピーの香」というものを提案しました。これをビジネスコンペに出したところ「関西ニュービジネス協議会」の主催するNBK大賞のマーケティング部門賞を頂きました。私自身、今までに表彰状などいただいたことはありませんでしたが、この時は大きな賞で授賞式に出席させていただきました。

嗅覚というのは、まず繊毛があつて嗅繊毛で匂いを感知し、そこから視床下部に直接届きます。他の四感は大脳皮質を通過してひとつ横の回路にいくのですが、匂いは直接届くのです。視床下部というのは自律神経系統が集中しています。例えば血管を収縮させたり、ホルモンの分泌の調節などを行っています。

香りの人体への影響ですが、ある種の香りが血管を膨らますという作用が、もし医学的に証明されたら大変なことになります。これは私の夢ですが、神経を鎮めたり、ホルモンのバランスがとれるようなお香が出来たらおもしろいことにならないかと思っています。せめて、あるお香を嗅いだら百人のうち60%~70%の人にα波が出た、β波が出たというような統計が出るようなことになれば、この業界も新たな発展に繋がるだろうと思っています。

### ・思う事

A. 継承し、伝承するとは、次の時代への地ならしをし、育つ種を蒔いておく事ではないか？

B. 家業は「祖先からの贈り物」「子孫からの預かり物」、自分は継ぎ役。

C. 経営資源の乏しい我々中小企業は常に革新的でなければならない。革新の連続が伝統の継承となり、事業の継承となる。

これが次に時代を創ると言う事であり、今を生きる者の責任と考える。

革新はメジャーからは生まれてこない＝時代は後からついて来る。

インフォメーションテクノロジーをはじめとする新しい文化の台頭でますます殺伐とした世界になってしまった今、日本人の心は病んでいます。自殺者は年間三万人を超えているといわれています。お香によるアロマセラピーは日本人の病んだ心を癒せる一つの方法であると私たちは考えています。考えてみれば、朝のシャンプーから始まってアフターファイブの香水まで、西洋香料が氾濫し、現在の日本では香料は西洋香料に席卷されています。しかし、いずれの日にか、心に訴える、また安らぎを与える日本の「香りの世界」が見直される時が必ず来ると確信しながら、次世代にバトンタッチしていきたいと思っています。

## 会長の時間

会長 城岡陽志



### 「朝令暮改」

昔から上に立つものは、朝令暮改は絶対やってはいけないと、セミナーなどでリーダーの在り方を教え込まれました。

でも果たしてそうでしょうか。

過去の成功体験がすべて、正しいとは限りません。まして今ほど変化のスピードが早く不透明な時代に、誰が自信を持って時代を読めるでしょうか。例えば電気業界のP社やS社が判断ミスから赤字にあえいでいます。

5年前プラズマテレビは画面が鮮明で、45インチ以上はプラズマ。それ以下のサイズは液晶が有利との判断が業界の常識でした。ゆえにP社はプラズマに絞り決断社運をかけて大型投資をし、S社は液晶にしぼり社運をかけ投資しました。工場を建設している間に、技術革新が速く液晶技術がプラズマに追いつきました。でもP社のような戦艦大和は、一度おもかじ一杯と号令をかけても旋回するまでに一年以上かかります。

さらに逆におもかじ一杯とはリーダーとしてメンツやプライドがありマスコミからも袋叩きに合い、経営者失格の烙印を押されます。トップは当然技術革新で風向きが変わりつつあるのは、知っていたと思います。

でも悲しいかな大企業は、急旋回はできません。

我々小企業は伝馬船です。恥も外聞ありません。

プライドを捨てて、朝令暮改をどンドンやり会社を安全運転することが一番大切だと思います。

一番邪魔なのは何の役にも立たないプライドです。

## S A A 報告

松生 満様 皆様お元気ですか？

堀畑好秀会員 「利休にたずねよ」の映画観賞券皆様の協力で完売致しました。  
有難うございました。

池田茂雄会員 皆出席表彰を頂き有難うございます。

那須宗弘会員 奥野さんようこそお越し下さいました。  
卓話楽しみにしています。

山中喜八郎会員 奥野さん本日はお忙しい中わざわざお越し頂き有難うございます。  
本日は宜しくお願い致します。

山ノ内修一会員 澤井さん、ゴメン！

嶽盛和三会員 奥野様卓話有難うございます。  
毎日お世話になっているお線香の話しとてもためになります。

城岡陽志会員 奥野大先生。本日の卓話楽しみにしています。  
仙台北RCの笹気様98クラブ達成をお祈りします。

綿谷伸一会員 奥野様、本日卓話宜しくお願い致します。

坂田兼則会員 奥野様ようこそいらっしゃいました。

- 澤井久和会員 生まれて初めて大阪フルマラソンに参加しました。  
5時間6分で完走しました。本当に足が棒になるのを経験させて頂きました。
- 中川 澄会員 奥野様、本日は卓話宜しく申し上げます。楽しみにしておりました。  
笹氣様、遠いところからようこそお越し下さいました。
- 藤永 誉会員 仁徳清掃お疲れ様でした。綺麗になるのは気持ち良いです。
- 笹山悦夫会員 清心寮の子供たちとの交流、仁徳稜の清掃、久々に自らを正す良い機会になりました。  
坂田さん、宇瀬さん、準備して頂いた皆さん有難うございました。
- 池永隆昭会員 来週から勝手します。すみません。
- 畑中一辰会員 前回の卓話で新井会員からお薦めがありました金芽米を買いました。  
1キロの減量が出来ました。有難うございました。

合 計 94,000円

## 幹事報告

- (1) 配布物 週報  
卓話資料
- (2) 連絡事項
- (3) 他クラブ例会変更のお知らせ
- ・堺泉ヶ丘ロータリークラブ  
11月19日(火)→11月10日(日) 第16回南区ふれあい祭り
  - ・堺清陵ロータリークラブ  
12月19日(木)→12月26日(木)  
忘年親睦家族会 於、岸和田五風荘  
12月26日(木)→定款第6条第1節の規定により休会

### 今週の歌「女ひとり」

京都 大原 三千院  
恋に疲れた 女がひとり  
結城に塩瀬の素描の帯が  
池の水面にゆれていた  
京都 大原 三千院  
恋に疲れた 女がひとり



# 清心寮のみんなとBBQ大会

平成 25 年 11 月 2 日 (土) 場所 : 大泉公園



# 仁徳稜清掃

平成 25 年 11 月 3 日 (日)

場所：仁徳稜正面



## 中南米での水プロジェクトでロータリアンと高校生が協力



エクアドル中部、岩だらけの山にあるティンゴプカラ村。インスピレーションが沸く場所とはとても言えないこの地で、トニー・リッジオさんはカメラを手に熱心に写真を撮っています。彼が写真に収めようとしているのは、ロータリー会員と高校生たちが汗を流して取り組んだ水プロジェクトです。

ウェストポート・ロータリークラブ会員であるリッジオさんは、これまで何度も、中南米への青少年の遠征旅行を引率してきました。そのきっかけは、2001年、米国コネチカット州に本部を置く非営利団体、「国境なき建築者団」(Builder Beyond Borders=B3)のプログラムに彼の娘が参加したことでした。彼が引率した高校生たちが参加したプロジェクトには、ドミニカ共和国のハリケーン被災者のための簡易住宅建設、ニカラグアでの橋の建設、コスタリカでの教室建設などがあり、どれをとっても、水と衛生の設備を整えることが常に重要な要素となります。「ここ中南米では、水は本当に貴重なものです」とリッジオさんは述べます。

2011年4月、B3のプロジェクトで高校生たちとともにティンゴプカラを訪れたリッジオさんは、平和部隊や「国境なき技師団」と協力して、村に水を引くためのパイプラインを建設しました。標高約3,800メートルのこの村から一番近い水源は、険しい山道を約1.5キロメートル下ったところにあり、水や耕作地の不足から、この村の男性たちはふもとの村まで働きに出るしかありません。このプロジェクトが実施される前、残された女性たちは、料理や洗濯用の水や飲み水を遠く離れた水源から運ばなければなりませんでした。エンジニアが設計したポンプシステムを、リッジオさんと高校生らのチーム、そして現地の人たちが協力して設置した結果、今では、村人たちが水道を常時利用できるようになりました。

リッジオさんの妻、エイミーさんもこの活動にかかわっています。彼女は次のように話します。「水プロジェクトでは、子どもたちは最後の最後になるまで、達成感を味わうことはできません。パイプを地中に埋めてしまうので、“完成物”が見えないからです。でも、大変な作業の後、蛇口をひねってあふれ出す水を見ると、子どもたちは歓喜で沸き返り、泣き出す子もいます。本当に感動的な瞬間です」

平和部隊とロータリーの世界的ネットワークを駆使した活動を通じて、ロータリーの信頼性と評判が高まり、ほかの団体との関係が築きやすくなった、とリッジオさんは言います。2008年には、B3のチームがグアテマラのロータリークラブと協力し、現地に聴覚障害者の学校を建てました。今年はさらに、ガイアナのジョージタウン・ロータリークラブと協力して、コミュニティーセンターや橋を含む5つの建設プロジェクトを実施する予定です。

エイミーさんは次のように語ります。「こうした活動は、世界を動かしています。そして、その中心にいるのが高校生たちです。これらのプロジェクトを通じて、彼らは人間として成長し、リーダーシップの力を養っています。これこそ、ロータリーらしい活動だと思います」